

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	子どもの体力向上啓発事業	担当部局庁	スポーツ・青少年局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成21年度・平成24年度	担当課室	参事官(体育・青少年スポーツ担当)	参事官 宮内健二			
会計区分	一般会計	政策・施策名	スポーツの振興 X II-1 子どもの体力の向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	スポーツ基本法第2条第2項 スポーツ基本法第23条	関係する計画、通知等	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定) スポーツ振興基本計画(平成18年9月21日改定) スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、スポーツ振興法に基づく体育の日の中央記念行事として、親子で参加するスポーツ体験教室や新体力テスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図る。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	1. 著名スポーツ選手等の派遣 スポーツ振興基本計画に基づき子どもの体力向上を図るため、小学校等に著名スポーツ選手等の指導チームを派遣し、講話や実技指導を行うことにより、体を動かすことの楽しさや正しい生活習慣を身に付けることの大切さ、スポーツの素晴らしさを子どもたちに伝え、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を身に付けさせる。 2. 体育の日中央記念行事 著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、親子で参加するスポーツ体験教室や新体力テスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	267	249	206	-	-
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	267	249	206	-	-
		執行額	194	202	189.9	-	-
	執行率(%)	72.7%	81.1%	92.2%	-	-	
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	著名なスポーツ選手を派遣した教室に参加した後、運動やスポーツをすることが楽しいと思う小学校4年から6年生の割合	成果実績	%	73.9	95.8	95	80
		達成度	%	92.4	119.8	118.8	-
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	著名なスポーツ選手によるスポーツ教室を開催する講習会数	活動実績 (当初見込み)	回	796 (940)	793 (850)	658 (850)	- (-)
			人	14,300 (3,000)	13,090 (10,000)	14,000 (10,000)	- (-)
			枚	102,500 (116,669)	101,470 (101,925)	101,000 (101,925)	- (-)
子どもの体力向上啓発ポスター作成数							
単位当たりコスト	著名なスポーツ選手によるスポーツ教室の1教室当たりのコスト 166,353 (円/開催教室数)		算出根拠	単位当たりコスト=平成24年度執行額(109.5百万円)/平成24年度開催教室数(658教室)			
	「体育の日」中央記念行事における参加者1人当たりのコスト 4,296 (円/人)			単位当たりコスト=平成24年度執行額(60.1百万円)/平成24年度参加者数(14,000人)			
	子どもの体力向上啓発ポスター1枚当たりの単価 67 (円/枚)			単位当たりコスト=平成24年度執行額(6.7百万円)/平成24年度ポスター作成数(101,000枚)			
平成25-26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由			
				平成24年度限りで廃止			
		計					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	スポーツ基本計画では、子どもが積極的にスポーツに取り組む態度を育成することが必要であり、学校の体育に関する活動や地域スポーツを通じて、子どもが十分に身体を動かしてスポーツの楽しさや意義・価値を実感することができる環境の整備を図ると明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。そこで、国は、スポーツの意義や価値の啓発を目的として、著名スポーツ選手を活用した子どもへの講習会を実施する等、子どもの体力向上の取組を積極的に推進していく必要がある。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	支出先の認定に当たっては、十分な公告期間を確保した上で、公募(企画競争)を実施しており、その妥当性や競争性を確保しているところ。なお、委託契約の締結に当たっては、事業経費の費目・用途の内容を厳正に審査するなど、その必要性について適切にチェックしている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	学校等に著名スポーツ選手を派遣することにより、運動習慣が身に付いていない子どもに対してスポーツの素晴らしさなどを伝え、主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を身に付けさせるための講習会等を実施した。当事業において設置された実行委員会において、事業目的にあった事業内容を精探し開催場所の選定を行うため、効率的かつ実効性が高い事業となっている。事業成果については報告書として、関係団体や教育委員会に配布するとともに、ホームページにも記載するなど、事業の周知に効果をあげている。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<p>・当該事業の予算の執行状況に係る点検方法については、実地検査において、証拠書類(収支簿、見積書、納品書、請求書等)を検査することにより、適切な執行が行われているか確認している。</p> <p>・小学校等に著名スポーツ選手等の指導チームを派遣し、講話や実技指導を実施することで、著名なスポーツ選手を派遣した教室に参加した後のアンケートにおいて、事業実施後に「運動やスポーツをすることが楽しいと思う」と回答した小学校4年から6年生の割合が事業前から増加していることから、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ態度や習慣の定着に効果をあげていることが認められる。</p>					
外部有識者の所見						
外部有識者による点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
この事業は著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、親子で参加するスポーツ体験教室や新体力テスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図ることを目的とした事業であるが、所期の目的を達成したことから平成24年度限りで廃止						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年	0337/0339	平成23年	0343	平成24年	0363	

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

文部科学省
189.93百万円

著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、スポーツ振興法に基づく体育の日の中央記念行事として、親子で参加するスポーツ体験教室や新体力テスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図る。

【公募・委託】

A. (財)日本体育協会
189.93百万円

○スポーツ振興基本計画に基づき子どもの体力向上を図るため、小学校等に著名スポーツ選手等の指導チームを派遣し、講話や実技指導を行うことにより、体を動かすことの楽しさや正しい生活習慣を身に付けることの大切さ、スポーツの素晴らしさなどを子どもたちに伝え、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を身に付けさせる。【実施箇所数:658箇所】
○スポーツ振興法に基づく体育の日の中央記念行事として、著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、親子で参加するスポーツ体験教室や新体力テスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図る。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.(財)日本体育協会			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	データベース保守料等	102.18			
諸謝金	講師等謝金	37.08			
旅費	講師等旅費	25.05			
一般管理費	一般管理費	11.41			
印刷製本費	報告書印刷製本費	7.47			
通信運搬費	配送料	5.28			
消耗品費	ファイル代等	1.15			
保険料	講師保険料	0.29			
会議費	お茶代	0.02			
計		189.93	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本体育協会	<p>○スポーツ振興基本計画に基づき子どもの体力向上を図るため、小学校等に著名スポーツ選手等の指導チームを派遣し、講話や実技指導を行うことにより、体を動かすことの楽しさや正しい生活習慣を身に付けることの大切さ、スポーツの素晴らしさなどを子どもたちに伝え、子どもたちが主体的にスポーツに親しむ態度や習慣を身に付けさせる。【実施箇所数:658箇所】</p> <p>○スポーツ基本法に基づく体育の日の中央記念行事として、著名スポーツ選手を活用した子どもへの直接的な啓発活動を実施するとともに、保護者等に対して子どもの体力向上の重要性についての理解を促すため、親子で参加するスポーツ体験教室や新体力テスト等を実施することにより、子どもの体力向上を図る。</p>	189.93	企画競争	—